



ASR-M24D 移行ガイド

対象 OS

iOS

対象言語

Objective-C, Swift

バージョン

5.4.0

ver1.0 2024 年 11 月 27 日

株式会社アスタリスク

■改版履歴

版	改版内容	日付
ver1.0	新規作成	2024/11/27

※ 本書の内容は、仕様変更などにより予告無しに変更することがあります。

目 次

1.	本書の目的	4
2.	SDK の差し替え	5
2. 1.	AsReaderBLESDK. framework と AsReaderDockSDK. framework を削除	5
2. 2.	「AsReaderBLESDK. framework」、「AsReaderDockSDK. framework」を追加...	6
2. 3.	AsReader protocol 追加	8
3.	改修内容	9
3. 1.	接続時の処理	9

1. 本書の目的

本書は、SDK4 を用いて開発した[既存端末※](#)用のアプリケーションが ASR-M24D でも動作することを目的としています。SDK4 のリファレンスガイドは[こちら](#)の開発者向け情報の SDK マニュアルをご参照ください。

※既存機種：

ASX-300R、ASX-301R、ASX-510R、ASX-520R、ASR-010D、ASR-020D、ASR030D、ASR-031D、ASR-0230D、ASR-0231D、ASR-0240D、ASR-022D

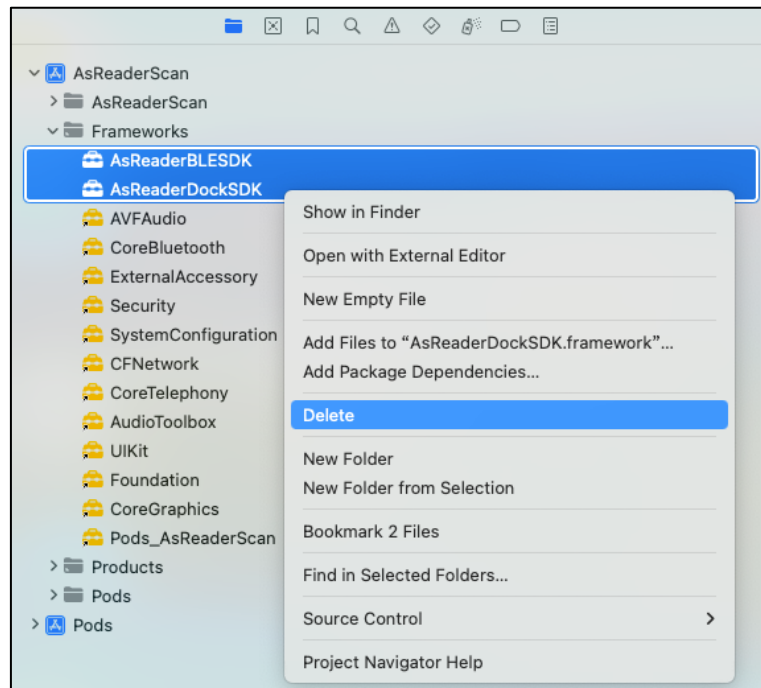
2. SDK の差し替え

SDK バージョン 5.2.0 で ASR-M24D に対応しました。

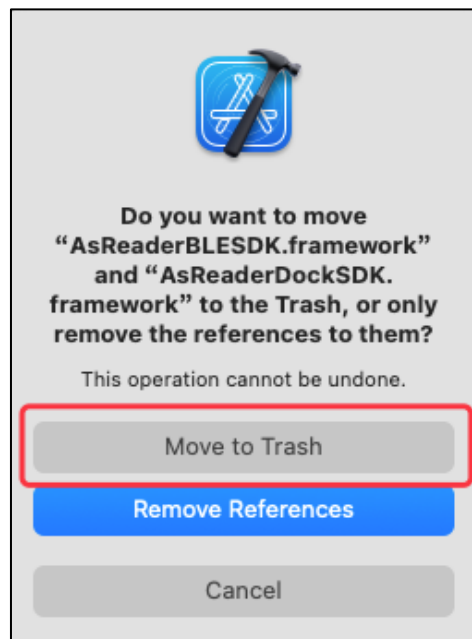
5.1.0 以前の SDK をご使用の場合は、SDK の差し替えを実施してください。

2.1. AsReaderBLESDK.framework と AsReaderDockSDK.framework を削除

「AsReaderBLESDK.framework」と「AsReaderDockSDK.framework」を選択して「Delete」をクリックします。

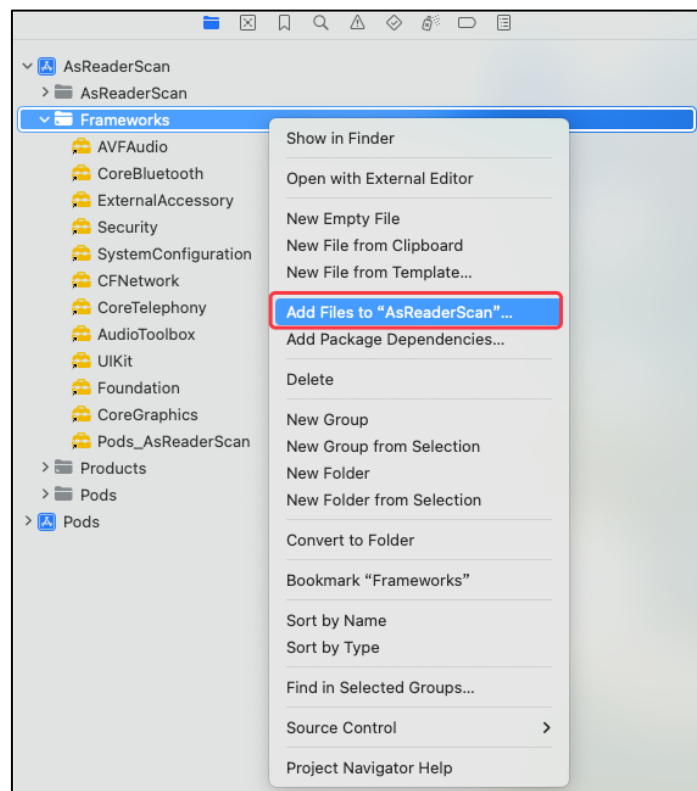


「Move to Trash」を選択します。



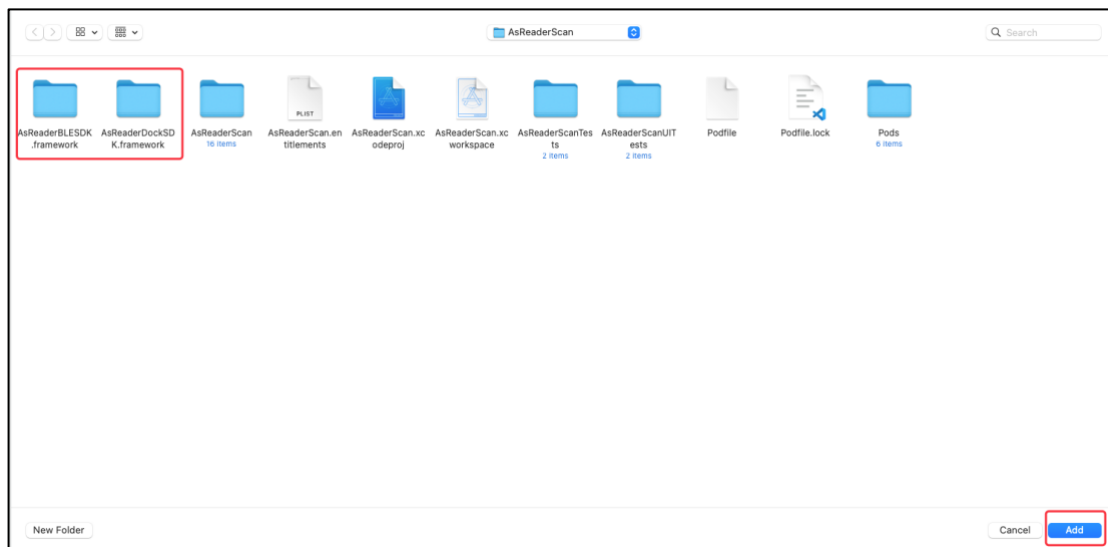
2.2. 「AsReaderBLESDK.xcframework」、「AsReaderDockSDK.xcframework」を追加

右クリックして「Add Files to “AsReaderScan” …」を選択します。

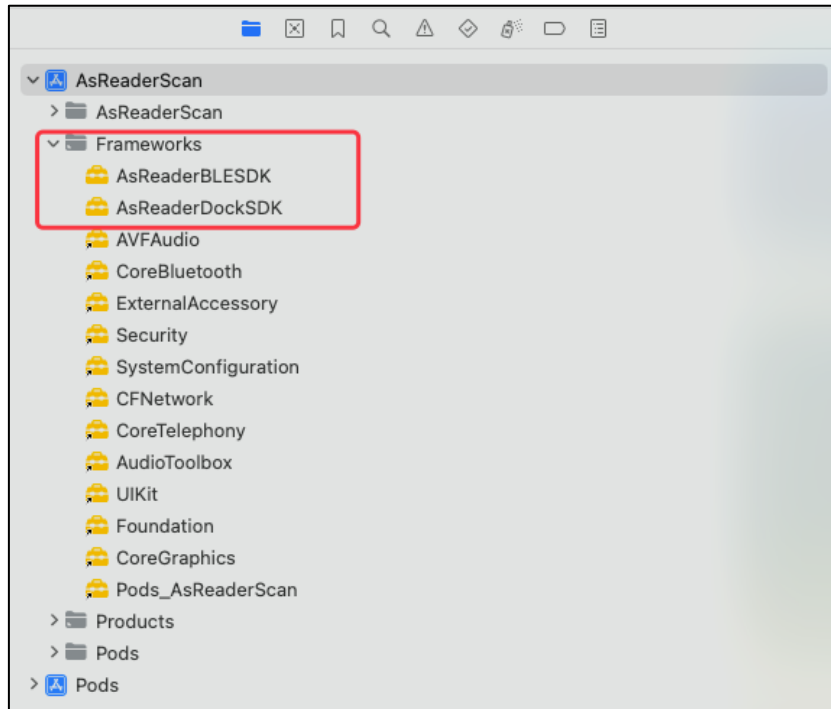


「AsReaderBLESDK.xcframework」と「AsReaderDockSDK.xcframework」を選択して「Add」をクリックします。

AsReader® ASR-M24D App Migration Guide



追加後は下記のように表示されます。



2.3. AsReader protocol 追加

「Info.plist」ファイル中の「Supported external accessory protocols」オプションに

「jp.co.asx.asreader.6dongle.barcode」を追加します。

▼ Supported external accessory protocols	Array	(8 items)
Item 0	String	kr.co.sps.sreader.universal.sr120
Item 1	String	jp.co.asx.asreader.nfc
Item 2	String	jp.co.asx.asreader.6dongle.rfid
Item 3	String	jp.co.asx.asreader.6dongle.barcode
Item 4	String	jp.co.asx.asreader.rfid
Item 5	String	jp.co.asx.asreader.barcode
Item 6	String	jp.co.asx.asreader.0240D
Item 7	String	jp.co.asx.asreader.0230D

3. 改修内容

3.1. 接続時の処理

[既存機種](#)の場合は、AsReader とアプリを接続する時に、plugged メソッドが呼ばれた後で setReaderPower を実行する必要がありました。ASR-M24D では setReaderPower を実行する必要はなく、AsReader と iPhone を接続すると、自動で readerConnected が呼ばれます。

```
- (void)plugged:(BOOL)plug {  
    if (plug) {  
        // setReaderPower の呼び出しは不要  
        // readerConnected が自動で呼ばれます。  
    } else {  
        //接続を切断  
    }  
}
```

```
- (void)readerConnected:(int)status {  
    if (status ) {  
        //パワーオン成功  
    } else {  
        //パワーオン失敗  
    }  
}
```

3.2. AsReader とアプリ接続時の Beep 音を制御する。

3.1 のように、接続時に setReaderPower を呼び出す必要がなくなったため、AsReader とアプリ接続時の Beep 音を制御したい場合は以下のメソッドを使用してください。

```
- (BOOL)setBeep:(BOOL)isBeep  
vibration:(BOOL)isVibration  
batteryGaugeLed:(BOOL)isbatteryGaugeLed  
barcodeAimer:(BOOL)isBarcodeAimer  
barcodePowerOnBeep:(BOOL)isBarcodePowerOnBeep
```

ASR-M24D 移行ガイド

株式会社アスタリスク

〒532-0013 大阪府大阪市淀川区木川西 2 丁目 2-1 AsTech Osaka Building

- ・ AsReader は、株式会社アスタリスクの登録商標です。
- ・ App Store、iPad、iPadOS、iPhone、iPod touch、Mac、Macintosh、macOS は、Apple Inc. の商標です。
- ・ iPhone の商標は日本国内においてアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ・ IOS は、米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されます。
- ・ Google Play、Android は、Google LLC の商標です。
- ・ Microsoft、Visual C#、Visual C++、Visual Studio、Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。